

2023年度

第3四半期決算

期間：2023年4月1日～6月30日

2023年8月10日、ドイツ・ミュンヘン

継続的かつ利益ある成長と優れたフリーキャッシュフロー

シーメンスAGのローランド・ブッシュ代表取締役社長兼CEOは、「当社は再び利益ある成長を達成し、全事業において競争力を発揮することができました。特に中国と短期サイクル事業において、需要の正常化が見られます。財務実績が引き続き好調かつ強靱であることを非常に喜ばしく思います。当社は引き続き、高い価値のある成長を生み出し、デジタルトランスフォーメーションとサステナビリティに向けたお客様の取り組みを加速させるという戦略を引き続き実行していきます」と述べています。

シーメンスAGのラルフ・P・トーマスCFOは、「第3四半期もまた、事業の好調な業績を反映する形で優れたフリーキャッシュフローを計上することができました。加えて、ムーディーズによる信用格付けの格上げが、当社の財務力を裏付けるものとなっています。当社は、株主、顧客、そして従業員のために価値を創造し続ける理想的な位置につけています」と述べています。

- ・ 為替変動とポートフォリオの影響を除いた前年同期比では、受注は15%増、売上は10%増。
- ・ 公称ベースとして、受注高はモビリティの大型案件の大幅増に牽引され10%増の242億ユーロ、売上高はすべてのインダストリアル事業で増収となるなど、前年同期比6%増の189億ユーロ。出荷受注比率は1.28。
- ・ インダストリアルビジネスの利益は、デジタルインダストリーズおよびスマートインフラストラクチャーの大幅増益などがあり、28億ユーロ、利益率は15.3%。2022年度第3四半期のインダストリアルビジネスの利益は、モビリティ部門で事業売却益7億ユーロが計上されたため29億ユーロであった。
- ・ 当期純利益については14億ユーロとなり、これに対応する基本1株当たり利益（EPS）は1.61ユーロ、企業買収時の取得原価配分前の基本1株当たり利益（PPA前EPS）は1.78ユーロ。2022年度第3四半期の純損失15億ユーロは、主に、27億ユーロを計上したシーメンスエナジー株式の減損によるもの。
- ・ 継続事業および非継続事業からのフリーキャッシュフローは当期も卓越しており、30億ユーロに達した。

SIEMENS

シーメンス

(単位：100万ユーロ)	第3四半期		増減 (%)	
	2023年度	2022年度	実績	比較
受注	24,244	22,006	10%	15%
売上	18,889	17,867	6%	10%
利益 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス	2,752	2,882	(4)%	
内：退職手当	(80)	(59)		
利益率 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス	15.3%	17.0%		
退職手当を除く	15.7%	17.4%		
継続事業からの利益	1,410	(1,523)	該当なし	
内：退職手当	(92)	(100)		
非継続事業からの利益、 (税控除後)	31	(7)	該当なし	
純利益	1,440	(1,531)	該当なし	
基本1株あたり利益 (単位：ユーロ)	1.61	(2.06)	該当なし	
PPA前のEPS (単位：ユーロ)	1.78	(1.85)	該当なし	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)	2,951	2,287	29%	
キャッシュ・コンバージョン・ レート	2.05	>1	該当なし	
ROCE (継続事業と非継続事業)	12..8%	(11.8)%		

- モビリティ部門の四半期受注高は、大型受注による大幅な数量増があり、再び過去最高額を達成。デジタルインダストリーズ部門は、比較対象となる数値が高かったため、今四半期の受注は2桁減。
- インダストリアル事業すべてで増収となり、スマートインフラストラクチャーが2桁増でこれを牽引。
- 為替変動の影響により、受注成長率が4%ポイント、売上成長率が3%ポイントそれぞれ目減りし、ポートフォリオの影響により、受注成長率が1%ポイント、売上成長率が2%ポイントそれぞれ目減りした。
- インダストリアルビジネスの利益には、スマートインフラストラクチャーおよびデジタルインダストリーズの大幅増益を含む。2022年度第3四半期においては、モビリティ部門の利益にYunex Traffic社の売却益7億ユーロが含まれる。
- インダストリアルビジネス以外では、シーメンスエナジーへの投資関連で6億ユーロの損失を計上。2022年度第3四半期は29億ユーロの損失だったが、これにはシーメンスエナジーAG株式の減損27億ユーロが含まれており、また、ロシア関係で合計6億ユーロの影響があった。
- フリーキャッシュフローの増加は主としてインダストリアルビジネスによるものであり、同部門では、モビリティにおけるお客様からの多額の前払い金を含め全部門で現金収入が好調であり、31億ユーロ（2022年度第3四半期は25億ユーロ）の卓越したフリーキャッシュフローを創出。
- 2023年6月30日現在の年金および類似の債務に対する引当金は17億ユーロ（2023年3月31日時点では18億ユーロ）と歴史的な低水準。減少した主な要因は主にシーメンスエナジーAGの株式6.8%を、従業員の退職後給付のためのシーメンスの年金資産を充実させるためSiemens Pension-Trust e.V.に拠出したことによる減少。これは、ドイツにおけるインフレ関連の調整により相殺された。